

どうして始めたのか?

CONFIDENCIAL 14



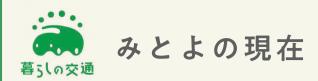


みとよの現在



まちの学生たち

通訳者としての みとよ探究部 まちの プロジェクトたち



市内小中学校の統廃合



通学距離/時間がより掛かるので、、、

部活動の選択肢が減る

送り迎えが必須になり 保護者の時間が減る



私たちが向き合いたい「まちの課題」

中学生や高校生

基本、自転車での移動になるので、 統廃合によって家が学校から遠くなり 部活に最後までいると暗くて危ない。

それにそもそもの移動範囲も 限られてしまう。



子育て世代の保護者

家事の合間、仕事の合間に 子供の送り迎えをしなければと 色々な時間に制限が生まれる。

自分の時間なんてもってのほかで なかなか作れない。





私たちが向き合いたい「まちの課題」

中学生や高校生

基本、自転車での移動になるので、 統廃合によって家が学校から遠くなり 部活に最後までいると暗くて危ない。

それにそもそもの移動範囲も 限られてしまう。



子育て世代の保護者

家事の合間、仕事の合間に 子供の送り迎えをしなければと 色々な時間に制限が生まれる。

自分の時間なんてもってのほかで なかなか作れない。



通勤が必要な会社員

通勤は基本、車移動になる。 ガソリン代は高いし、飲み会があると 代行代もかかってしまう。

ただでさえ移動も大変なのに、 家計の負担も大きい。



<u>免許返納した高齢者</u>

病院やスーパーに行くのも、 お友達とのランチに行くのも、 バスを乗り継いだり、 タクシーを使ったり。

いきたいところに行けない。





私たちが実現したいまちの未来

自由な移動で、 心躍る体験に出会いに行く。

移動ができない。

お金や時間、そもそも手段が無いから。

移動ができないことで、

出会えたはず、選べたはずの選択肢を諦めなければならない。

暮らしの交通は、まちの人々の移動をより自由にし、

移動によって断念しなくて済む未来を作ります。

そして、老若男女すべての人たちが、

より豊かで心躍る体験に包まれた暮らしづくりを支えていきます。



20